

会 議 議 事 録

記録者 N・K

会議名 運営推進会議

日 時 令和 6 年 9 月 26 日 (木)

13 時 00分 ～ 14 時 00分

場所 オリーブハウス

出席者 12区区長 H様 民生委員 N様 宇城市包括支援センター F様 オリーブ利用者ご家族 (欠席)

オリーブ管理者 N オリーブ生活相談員 U

1、内容

No.

①自己紹介

各自自己紹介を行われる。家族代表:急用にて欠席

②事業所の利用状況報告書

内容は別紙参照

③活動報告

今年も暑い日が続いたが、連日、お出かけしている。場所は日陰のあるところや、買い物などの室内での活動を主に取り入れている。生活リハを中心に実施しており、特に女性は毎日、家事動作など行われており、そのため認知症の症状の進行がすすまず、緩やかになっている。また趣味を活かした脳トレを取り入れている。

今月より利用開始になられた方が、以前行かれていた、大津のキムチの里やあまくさ村などへのお出かけを希望されお出かけ、楽しまれている

④地域の方からの質疑応答

Q要支援の方も利用できるのか？

A利用可能。支援で利用されていた方が2名いたが、介護に上がり、現在は支援の方はいない。

Q民生委員であり、一人暮らしの方の見守りをしている。デイケアにつなげたい方もいるが介護認定受けていない迷惑をかけたくないため見守るしかない状況。どうしたらいいものか？

A包括支援センターより

連絡してもらえれば、体調確認にいくことができるため、必要な場合は連絡ください

本人が行くサービス(通所系)だけでなく、行かなくても来てもらうサービス(訪問系)もあるため、相談ください

⑤その他(管理者より)

利用者さん同士で、できる方ができない方のお世話をしてくださる

61歳の若年のかたも、仕事としてきておられ、そのように対応している

役割を持っていたく

生活リハビリが一番の目標 協力しながら実施している

在宅生活が持続できるように支えていく

⑥防災訓練(BCP)実施

想定;土砂災害避難訓練

地域の方からの感想及び課題

・全体的に思っていたより、落ち着いて訓練できていた

・まずは利用者に避難先を伝えたほうがいいのか…

・災害発生時の具体的状況を伝え、早急な避難に繋がった方がいいのではないか

・実際に災害が発生した場合には、避難先として宇城防災センターとなる

・土砂災害避難訓練は初であり、緊張したが、自然災害に対する対策や災害発生時の安全な避難の方法やあり方について今後検討したい